




15 泉校区コミュニティ協議会（田原市）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	泉校区コミュニティ協議会
2 事業名	泉校区特殊詐欺対策事業
3 事業実施結果	<p>泉校区コミュニティ協議会では、子供たちを地域で協力して見守る「いずみ見守り隊」を平成26年に発足した。「いずみ見守り隊」は、地域有志によって日常生活の中で散歩や買い物、農作業の最中に子供たちを見守る「ながら見守り」活動を実施している。特殊詐欺対策は、発足の趣旨とは異なるものの、昨今頻繁にニュースで取上げられていること、田原市でも特殊詐欺の被害が発生していることを受け、自分たちが住む地域の安全を守りたいという隊員の思いから、本事業を実施した。</p> <p>○田原市での特殊詐欺発生件数（12月1日まで） 平成30年・・・2件（内、泉校区0件） 令和元年・・・3件（内、泉校区0件）</p> <p>（1）特殊詐欺防止啓発資材として、簡易型自動録音機を購入し、高齢者の特殊詐欺被害防止を図った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>これは、受話器に設置し、受話器を取ることで警告音声が行くとともに、5分間通話内容を録音するというものである。</p> <p>（2）パトロール資材を新たに購入し、見守り隊の活動を強化した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

(3) 警察署の協力を得て、特殊詐欺に関する講話会を実施した。また、事前に駐在所会議にて特殊詐欺についての勉強会を実施した。



駐在所会議



愛知県警察の防犯活動専門チーム「のぞみ」による防犯教室

(4) 地域の防犯意識の高揚を図るため、地区内の商業施設において、啓発品を配布するとともに、最近の手口等を説明した。



(5) 特殊詐欺の被害防止を図るため、地区内の高齢者世帯を訪問し、電話機用自動録音機を設置するとともに、使用方法を実際に体験させた。



(6) 特殊詐欺に対する知識の普及を図るため、啓発チラシを作成し、泉校区の全戸へ配布した。また、地域のイベントなどでも配布した。



敬老会での啓発



市民館まつりでの啓発

4 成果と課題 及び今後の 取組み	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>ア 成果</p> <p>普段目にする機会のないようなものを啓発品に選んだことにより、受け取る人の興味を引くことができ、配布の際に、特殊詐欺の現状について話を聞いてもらうきっかけになった。啓発資材には、警告音声と録音機能が付いているうえ、受話器に設置するタイプであることから、電話を受ける際は必ず目に入るため、意識しながら電話対応することができる。</p> <p>また、回覧板を活用して全戸にチラシを配布することにより、老若男女問わず特殊詐欺啓発を行うことができた。</p> <p>警察署の協力を得て実施した講話会は、寸劇も交えられた楽しく特殊詐欺について勉強できるもので、参加者も笑いながらも熱心に話を聞いていた。これは他地区でも実施すべきと感じた。</p> <p>イ 課題</p> <p>特殊詐欺の手法は日々変化しているため、継続した情報収集と啓発が必要であるが、それに対する労力も必要となるため、特殊詐欺対策の啓発方法などを工夫しなければ、継続実施は難しいと感じた。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>日常会話の中などで地道に啓発を行い、それが周りに拡散することを狙う。また、敬老会などの特に被害に遭いやすい高齢者が集まる場での啓発は、継続的に実施していく。</p> <p>子供たちを見守る「ながら見守り」の中で、不審者や不審な車にはこれまで以上に注意し、活動を続けていく。</p>
-------------------------	---